

2012年度 一般1月入学試験 前期

世界史

〔注意事項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は15ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認しなさい。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があつてから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

世界史

(60分 100点)

I ペロポネソス戦争からヘレニズム時代について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。(34点)

古代ギリシアを二分したペロポネソス戦争がはじまってまもなく、民主政アテネの指導者 は、⁽¹⁾戦没者国葬演説において、ポリスはギリシアが追うべき理想の現れであり、市民はポリスを恋い慕う者となれ、とよびかけた。しかしこの戦争によって、ポリス社会は大きく変質しはじめた。貧富の差の拡大、党派抗争の激化、戦争における の使用の流行などのため、市民の伝統的な共同体意識はくずれていった。

こうしたポリスの衰退のなか、前4世紀後半、ポリスをつくらなかった北方のマケドニアがフィリッポス2世のもとで勢力を増し、前338年 で、テーベとアテネの連合軍を破り、事実上ギリシアを支配下に置いた。

フィリッポス2世の子アレクサンドロス大王は、ギリシアの宿敵ペルシアをうつため、前334年マケドニアとギリシアの連合軍を⁽²⁾ひきいて東方遠征に出た。大王は、ペルシアの支配下にあったエジプトを征服したのち、ダレイオス3世をたびたびうち破ってついにペルシアを滅ぼし、さらにインド西北部まで軍を進めて東西にまたがる大帝国をきずいた。前323年の大王の急死後、その広大な領土は約40年間にわたるディアドコイ（後継者）たちの争いで、 マケドニア、 シリア、 エジプトなどに分割された。

大王の東方遠征以来、エジプトのアレクサンドリアをはじめとしてギリシア風の都市がオリエントやその周辺に多数建設され、これらの都市を中心にギリシア文化が東方に広まり、各地域の文化と融合して独自の文化が生まれた。これをヘレニズム文化といい、遠征からエジプト王国の滅亡までの約300年間をヘレニズム時代とよぶ。

ヘレニズム世界の西では、ローマが着々と勢力をのぼし、前3世紀前半には全イ

- | | | |
|----|-------------------------|-----------------------------|
| 4 | ① アケメネス朝
③ セレウコス朝 | ② アンティゴノス朝
④ プトレマイオス朝 |
| 5 | ① アケメネス朝
③ セレウコス朝 | ② アンティゴノス朝
④ プトレマイオス朝 |
| 6 | ① アケメネス朝
③ セレウコス朝 | ② アンティゴノス朝
④ プトレマイオス朝 |
| 7 | ① フェニキア人
③ イオニア人 | ② アラム人
④ ドーリア人 |
| 8 | ① ハンニバル
③ スパルタクス | ② ハンムラビ
④ マリウス |
| 9 | ① プレヴェザの海戦
③ レパントの海戦 | ② アクティウムの海戦
④ トラファルガーの海戦 |
| 10 | ① アルビジョワ派
③ ストア派 | ② エピクロス派
④ スンナ派 |
| 11 | ① アルビジョワ派
③ ストア派 | ② エピクロス派
④ スンナ派 |
| 12 | ① 原子論
③ イデア論 | ② 天動説
④ 太陽中心説 |

問2 文中の下線部(1)に関連して、この戦争において、アテネを盟主として、スパルタを盟主とするペロポネソス同盟と戦った同盟を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

13

- ① コリントス同盟
- ② デロス同盟
- ③ ハンザ同盟
- ④ バルカン同盟

問3 文中の下線部(2)に関連して、ペルシア戦争に関する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

14

- ① ペルシア戦争は、ペルシアに反乱をおこしたイオニア植民市をアテネが援助したことが原因ではじまった。
- ② 前490年、陸軍国スパルタの重装歩兵軍がマラトンの戦いでペルシア軍をうち破った。
- ③ アテネは海軍を増強し、前480年のサラミスの海戦でテミстокレス率いるギリシア連合軍がペルシア軍を大敗させた。
- ④ ギリシア人は、この戦争の勝利を、オリエントの専制支配に対するギリシアの自由の勝利として自信を深めた。

問4 文中の下線部(3)に関連して、次の問いに答えなさい。ピュドナの敗戦後、ローマに連行されてスキピオの教師となり、『歴史』を著して、政体循環史観を説いた歴史家を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

15

- ① ポリビオス
- ② リウィウス
- ③ タキトゥス
- ④ プルタルコス

問5 文中の下線部(4)に関連して、第1回三頭政治に加わった政治家3人のうち、ポンペイウス以外の2人の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 16

- ① カエサル、クラッスス ② アンтониウス、オクタウィアヌス
③ レピドゥス、クラッスス ④ カエサル、オクタウィアヌス

問6 文中の下線部(5)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 17

- ① この思想は、ポリスという枠にとらわれない生き方を理想とする。
② この思想は、人間は理性を共有する人類同胞の一員であると主張する。
③ この思想は、ギリシア語とギリシア文化によって統一された世界を理想とする。
④ この思想は、選民思想を否定して普遍的な救いを説くキリスト教が受容される精神的基盤ともなった。

Ⅱ 中国文学の発展について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

(34点)

「文学」という言葉は、孔子の言行録である『』「先進篇」にはじめてあらわれる。ただ、ここでいう「文学」は「文章博学」、つまり古今の文献や学問に通じている、という意味であり、今日われわれがいう「文学」の意味ではない。今日の「文学」の意味に近いものは、三国時代から南北朝時代のころにあらわれた⁽¹⁾が、その中心は詩や文など、知識人が主な担い手となる分野であった。

しかし、知識人の「文学」が、大衆の文化とまったく関係なく存在していたわけではない。たとえば最古の詩集である『詩経』は、地方で採集された民間歌謡を整理編集したもの⁽²⁾といわれる。また『詩経』に収められる詩は一句四字の四言詩を基本とするが、漢代に民間歌謡の影響を受けて、五言詩が生まれ、後々まで中国の詩の基本形式のひとつとなった。南北朝のころまでは、詩の作者は主に宮廷の王族や貴族たち⁽³⁾であったが、唐代に科挙⁽⁴⁾が定期的⁽³⁾に実施されるようになり、家柄より実力で出世する傾向が強まると、地方官僚や仕官しない知識人にも詩作が広まり⁽⁴⁾、杜甫、李白、など今日においても名を知られる多数の詩人を生み出した。押韻などに厳格なルールができあがったのもこのころである。

外国の文化も、「文学」に影響を与えた。唐代には「胡楽」という、西域から流入した音楽が流行し、その西域風の音曲に歌詞をつけて歌うことが広まった。初期は有名な詩などを歌詞にしていたが、のちには音曲に合わせて歌詞を作るようになった。それをといい、宋代にはなど有名な詩人、文人たちも数多くのを制作している。

逆に、「文学」を担う知識人が、大衆文化に積極的に関与し、その発展に寄与したこともある。モンゴル民族が建てた王朝である元は、外国人を政権の中心に採用⁽⁵⁾したり、実務能力を重視した⁽⁶⁾ため、従来のように科挙によっての知識を問うようなことはほとんど行われなかった。科挙に合格して官僚となる道がほぼ閉ざされた知識人たちは、大衆文化の一つである劇の台本の執筆などに生活の道を求めた。その結果、この時代の戯曲は飛躍的に発展し⁽⁷⁾、漢代の文・唐代の詩・宋代の⁽⁸⁾と並んで元代の文学を代表するものとなった。

明代に入ると、科挙が再開されるが、出版業が盛んになったこともあり、知識人⁽⁹⁾の中から科挙に合格して官僚になるよりも、文筆で生計を立てることを選ぶ者があらわれた。彼らは劇や語り物など大衆文化の中から題材を集め、小説にまとめて出版した。『三国志演義』 などはこの時代に完成したものである。

問1 文中の空欄 ～ に入る語句として適当なものを、次の①～④の中からそれぞれ1つずつ選びマークしなさい。 ～

- | | | |
|-----------|------|------|
| 18 | ① 孟子 | ② 論語 |
| | ③ 老子 | ④ 国語 |

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| 19 | ① 王羲之 | ② 白居易 |
| | ③ 欧陽脩 | ④ 顔真卿 |

- | | | |
|-----------|-----|-----|
| 20 | ① 歌 | ② 語 |
| | ③ 辞 | ④ 詞 |

- | | | |
|-----------|------|-------|
| 21 | ① 朱熹 | ② 蘇秦 |
| | ③ 蘇軾 | ④ 司馬光 |

- | | | |
|-----------|-------|-------|
| 22 | ① 儒学 | ② 文学 |
| | ③ 考証学 | ④ 陽明学 |

- | | | |
|-----------|---------|----------|
| 23 | ① 『琵琶記』 | ② 『水滸伝』 |
| | ③ 『紅樓夢』 | ④ 『聊齋志異』 |

問2 文中の下線部(1)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 24

- ① 司馬炎が建てた晋は匈奴に滅ぼされたが、晋の王族の司馬睿が江南の建康で即位し、晋を復興した。
- ② 華北では数多くの政権が興亡したが、5世紀前半、北魏の太武帝が華北を統一した。
- ③ 北魏は建文帝の漢化政策への反発から東魏と西魏に分裂し、ついで東魏は北齊に、西魏は北周に倒された。
- ④ 劉裕が東晋を倒して宋を建て、宋・斉・梁・陳の4王朝が短期間のうちに興亡した。

問3 文中の下線部(2)に関連して、次の2つの問いに答えなさい。

(a) 『詩経』が編集された時代には、さまざまな思想家たちが、各国を巡って自らの主張を訴えたが、その中で、兼愛・交利・非攻を説いた人物を祖とする学派を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 25

- ① 法家 ② 縦横家 ③ 道家 ④ 墨家

(b) 同じ時代の人物で、性悪説をとらえた人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 26

- ① 莊子 ② 韓非子 ③ 荀子 ④ 孫子

問4 文中の下線部(3)に関連して、次の問いに答えなさい。当時の人物で、さまざまな官職を歴任したがいずれも短期間で辞め、故郷に戻って、田園生活を楽しみながら詩作を行い、六朝随一の自然派詩人と呼ばれた人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 27

- ① 陶潜 ② 韓愈 ③ 謝靈運 ④ 柳宗元

問5 文中の下線部(4)に関連して、孔穎達らが編纂した儒教の重要經典の注釈書で、のちに科挙のテキストにされた書籍を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 28

- ① 『五經大全』 ② 『四庫全書』 ③ 『永樂大典』 ④ 『五經正義』

問6 文中の下線部(5)に関連して、モンゴル民族を率いてユーラシア大陸にまたがる大帝国を築いた人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 29

- ① チンギス＝ハン ② オゴタイ＝ハン
③ フビライ＝ハン ④ モンケ＝ハン

問7 文中の下線部(6)に関連して、当時外国人のうち西方系諸民族を指すのに使われた言葉として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 30

- ① 色目人 ② 南人 ③ 漢人 ④ 南蛮人

問8 文中の下線部(7)に関連して、当時の科学者で天文や水利に通じ、皇帝の命でイスラーム暦をもとに授時暦を作成した人物を、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 徐光啓 ② 郭守敬 ③ 李時珍 ④ 宋応星

問9 文中の下線部(8)に関連して、次の2つの問いに答えなさい。

(a) この時代の戯曲を何と呼ぶか。正しいものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 元曲 ② 元劇 ③ 元楽 ④ 元戯

(b) この時代の戯曲の代表的作品として、正しいものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 『西遊記』 ② 『仏国記』 ③ 『西廂記』 ④ 『神統記』

問10 文中の下線部(9)に関連して、当時出版された書籍として誤っているものを次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。

- ① 『天工開物』 ② 『農政全書』 ③ 『本草綱目』 ④ 『儒林外史』

Ⅲ イギリス産業革命について述べた次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

(32点)

イギリスで生じた世界最初の産業革命は、広大な市場の獲得、十分な労働力の供給、科学技術の発達など、さまざまな条件がそろったことによってはじめて可能となった。

第一に、市場の形成については、16世紀初頭から重商主義政策が実施され、一方で [35] 織物工業が発達していたこともあって、国内において豊かな市場が存在し、同時に投資先を求める資本が蓄積されていたことがあげられる。1600年の東インド会社設立にみられる [36] 時代の積極的な海外進出はこのことを背景としていた。イギリスはネーデルラント (オランダ)、ついでフランスを破り、広大な海外市場を獲得していったのである。

第二に、労働力については、次の点を指摘することができる。農業においては18世紀に新たな農法が普及し、[37] が進むことにより農業資本家が地主から土地を借りて農業労働者を雇う、大規模・集約的土地利用がすすんだ。同時に多くの中小農民は自営農から農業労働者または都市部の工業労働者となり、[38] が発展すると、人口増加とあいまって資本主義体制を下支えする労働者階級が形成されることとなったのである。

第三の条件は科学技術の発達である。18世紀後半に入り綿工業がイギリス国内で発達するが、それにとまっておこった技術革新が産業革命において果たした役割も大きかった。[39] の発明した飛び杼により綿織物の生産量が増大し綿糸が不足したため、多軸紡績機や水力紡績機などがつぎつぎに開発され、良質の綿糸が大量生産されるようになった。1769年にワットが蒸気機関を改良すると、それが紡績機などの動力として利用されるようになり、カートライトが力織機を開発し生産効率も上昇した。これらの部門での発明は綿工業を発展させると同時に、[40] が多数の労働者を雇用する経営を可能にし、安価で大量の製品をつくり出すことが可能となった。

このような機械の需要による機械工業の発達が機械・機材の原料としての鉄の需要を増大させ、鉄工業、石炭業なども発達をとげた。また19世紀に入ると [41]

42

- ① スティーヴンソン ② トレヴィシック
③ フルトン ④ ダービー

43

- ① パックス・ブリタニカ ② 世界の工場
③ 世界の銀行 ④ 王の奇蹟

問2 下線部(1)に関連する記述として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 44

- ① 重商主義政策は、国内輸出産業の保護・育成と同時に、輸出入促進のための規制緩和による経済活動の活発化を重視する政策である。
- ② 重商主義政策は、輸出促進と輸入抑制による国際収支の改善を重視する政策である。
- ③ 重商主義政策は、富の源泉を土地に求め、経済活動の自由放任を重視する政策である。
- ④ 重商主義政策は、国内インフラの整備や社会保障制度維持のための財源の必要性から実施された。

問3 下線部(2)に関連する記述として正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 45

- ① ジャワ島のバタヴィア（現在のジャカルタ）を根拠地に、ポルトガル商人を排除しつつ香辛料貿易の実権を握った。1799年に解散した。
- ② 喜望峰からマゼラン海峡にいたるアジア全域での貿易独占権を与えられ、1858年までインドを中心とするアジア進出・植民地支配で大きな役割を果たした。
- ③ コルベールが組織した国営貿易会社で、1796年に解散した。
- ④ アフリカ西岸とアメリカとの通商に乗り出した。ポルトガルなどとの争いに敗れて衰退し、1791年に解散した。

問 4 下線部(3)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ
選びマークしなさい。 46

- ① 北部7州は1579年にユトレヒト同盟を結び、オラニエ公ウィレムのもと
スペインに対し抵抗をつづけた。
- ② 中世以降中継貿易や毛織物生産で繁栄し、多くの都市が成立した。
- ③ 世界最大の植民地帝国を形成し、「太陽の沈まぬ国」とよばれた。
- ④ 1648年のウェストファリア条約で正式に承認された。

問 5 下線部(4)に関連する記述として正しいものを、次の①～④の中から1つ選び
マークしなさい。 47

- ① イギリスはスペイン継承戦争の結果、フランスから中部アメリカの領土を
獲得した。
- ② フランスの奴隷貿易の拠点であるセネガルは1763年にイギリスに譲渡さ
れた。
- ③ オーストリア継承戦争では、フランスの兵力をヨーロッパ内にとどめてお
くため、イギリスはフリードリヒ2世を援助した。
- ④ フランスは、フレンチ＝インディアン戦争の結果締結されたパリ条約で、
ミシシッピ川以西のルイジアナをイギリスに譲渡した。

問 6 下線部(5)に関連する記述として正しいものを、次の①～④の中から1つ選び
マークしなさい。 48

- ① 1545年のアメリカ大陸最大の鉱山の発見が鉄工業の発達を促進した。
- ② 18世紀にコークスによる製鉄法が開発され、鉄の大量生産が可能となった。
- ③ 18世紀に木炭を使用する製鉄法が開発された。
- ④ コークスを利用する製鉄法はマイヤーによって開発された。

問7 下線部(6)に関連する記述として誤っているものを、次の①～④の中から1つ
選びマークしなさい。 49

- ① 産業革命期にエネルギーの主役が木炭から石炭に変わったことを指して、エネルギー革命という。
- ② 宋代に実用化されたものが、当時植民地化されつつあったイスラーム経由でヨーロッパへ伝播したものである。
- ③ 鉄の精錬や蒸気機関の燃料としての需要が増大し、石炭業が急激に発達した。
- ④ イギリスは石炭の資源に恵まれていた。

問8 下線部(7)に関連して、以下の3国の中で産業革命が生じた順序の組合せとして正しいものを、次の①～④の中から1つ選びマークしなさい。 50

- ① ベルギー → アメリカ → 日本
- ② ベルギー → 日本 → アメリカ
- ③ アメリカ → ベルギー → 日本
- ④ アメリカ → 日本 → ベルギー